

# 昨年度のだいち研修ダイジェスト

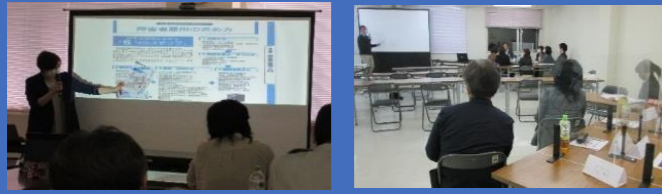
## 雇用促進・就労定着プロジェクト

障がい者雇用に積極的に取り組んでいる企業が  
集まり活動している会です！

昨年度はプロジェクト企業においても活動制限をせざるを得ない事態になりました。その余波はいまも尚続いています。その流れを受け、企業見学や職場実習の機会が減少・喪失したことで、求職者のモチベーションが下がっており、また在職者の働く意欲にも落ち込みがみられているという声が聞こえてくるようになりました。プロジェクトでは、その様な声に向けて何か出来ることはないだろうかという模索を重ね、年度当初目標にしていた【定期的な学習会】【仕事の魅力発見フェス】という2本の柱について、諦めずに取り組もう！という思いが高まり、開催方法を検討しながら取り組むことが出来ました。

### 柱①：学習会<2回開催しました！>

プロジェクトメンバー自身が障がい者雇用に関する理解や知識を深め、力を付けていくことを目的とした学習会です。  
1回目は『雇用のプロセスから就労定着について』、2回目は『特別支援学校の見学会報告』『仕事の切り出しと業務のマッチング』について、メンバー内の雇用事例を基に学び合いました。  
安定した職業生活を継続するためには、  
・初期段階の支援（マッチングや職場環境の調整・現場の理解・・・）  
・その後の中長期的な支援（キャリア形成・生活環境の変化による問題への対応・・・）  
など、企業の抱える課題は多岐に渡ります。  
2度の学習会を通して、このような様々な課題は、数人雇用している企業とこれから取り組む企業とは、学びたいポイントが違ってきているという感想も寄せられました。今年度は、企業の受入れ状況の段階にスポットを当てた学習会などを開催していきたいと思っております。



### 柱②：仕事の魅力発見フェス<オンラインで開催しました！>

2回目の「仕事の魅力発見フェス」は、この1年間で培ったリモートスキルを総結集！発表企業一参加事業所一事務局をオンラインでつなぐ形式での開催となりました。  
1日目は『清掃の仕事』を、2日目は『厨房の仕事』を、働く企業の業種に焦点を当てて職種を比較するという内容で行いました。  
参加された利用者さんからは「実際の働いている場所を見ることができて良かった」「一部を体験するのも良いが、多くの作業を任されている事を知ることが出来た」など、働くイメージがより具体的になったという声も多く寄せられました。  
十勝管内のみならず、道内・全国各地から多くの皆さんにご参加いただきリモート開催のメリットが最大限に活かされたイベントとなりました。



DVDの貸し出しも  
行っておりますので、  
お気軽にご相談下さい！

### まとめ

昨年度好評を得た「仕事の魅力発見フェス」に関しては、仕事の体験に変わるメリットを検討するという壁にぶつかりました。見て学ぶ・比較するという事はできたとしても、イメージを持ちづらい障がいのある方には、実際の道具を使い体験できるという事が一歩前に踏み出すきっかけになったのは間違いありません。それと同様に、就職前の体験実習などが行えない状況が、求職者の就職への意欲を引き上げられない原因につながっていることがプロジェクトとしても課題と感じ、地域への働きかけを行うことを検討しております。今年度は**活動の柱として ①情報発信 ②教育 ③組織拡大 ④提言**の4つを掲げ、求職者・福祉関係者・企業団体などの連携を取りながら、障がい者雇用と就労定着に関する普及啓発を行っていく予定です。

## 定着支援研修

働く当事者対象  
定期開催の研修です



リモート研修もあり



昨年5月に「新しい生活様式」が提唱された状況下にあっても、当センターには就労中の障がいをお持ちの方とその所属先企業から定着支援研修のご要望を沢山いただきました。その声に当センターがどのようにお応えできるかを検討し、例年に比べて小規模での開催やオンラインツールの活用などを行うことで、より一層個々人の課題や経験別のニーズに合わせた内容を提供できるよう、コロナ禍を逆手にとった体制へのシフト変更を提案させていただきました。就労時に求められる一般常識やビジネスマナーの確認を行った「社会人基礎研修」、コロナによる困り事と元々抱えている課題を参加者同士で語り対応方法を考え合った「コロナに負けるな 皆で知恵を出し合い乗り切ろう！」「わたし達と新しい生活様式」、コロナ禍のコミュニケーションに焦点を当てた「With コロナでも変わらない働くためのコミュニケーション」などの研修テーマで企画・開催いたしました。最終的に全10回・述べ100名を超える方々にご参加いただき、結果として「必要な研修が必要な方に選んでいただく」という目標に近づけたと考えております。今年度も研修内容と開催方法を検討しつつ、前年度の経験を活かした取り組みを皆様に提案してまいります。

## 行政福祉担当者情報交換会 令和2年8月31日開催



当センターが開設以来こだわってきた「顔の見える関係作り」を土台に、同じような課題を持つ市町村同士が横につながることの目的に会を企画しました。19市町村への聞き取りで集約した地域での好事例や課題の共有を行い、十勝管内の特色は大きく4つに分けられました。

- ① 人口規模が少なく、ご本人や市町村内の資源の状況、相談支援とのかかわりの状況などを包括的に把握し、市町村内の資源のコーディネート機能になっている地域
  - ② 福祉専門職が配置され、引きこもりなどサービスにつながらない方へのアプローチや町民の潜在的ニーズの掘り起こしを丁寧に行っている地域
  - ③ 市町村内において、乳幼児健診、発達支援センターや障がい福祉サービス、介護サービスへと情報が引継がれ、対象者の方の状況を捉えるシステムができてきている地域
  - ④ 福祉だけの問題にとどまらず、財政・商工・労政・農政・教育など横のつながりの中で、広い視点を持ち課題解決にあたっている地域
- 意見交換では、日々の相談や業務での困りごとや住民ニーズの掘り起こし、障がい・引きこもり・生活困窮などの多岐に絡み合う相談のニーズや対応について話題が出ました。また、「財政予算の課題」では、年々増え続ける給付費に対し、障がい者雇用への適切な予算の予算の使い方に対する議論が飛び交いました。年度が替わり、担当者のご異動があった市町村もありますが、この1年間の活動や新たな展開の共有を行いたいと考えております。

## 移行支援事業所連絡会

リモート研修もあり



この連絡会は、就労支援の核となる就労移行支援事業所の皆さんが集まり、地域全体の支援力の向上や、情報交換等を行う中での横のつながり作り、日々連携を取っていきける関係性作りを目指していきけるよう、昨年度より取り組み始めました。実際に昨年度行った事業所訪問での話から、事業所間の交流や支援者同士が顔を合わせる場があると良いとのご意見をいただき、まずは参加者同士が知り合い関わる機会を増やしていくこ



とを第一の目標とし、活動を行ってまいりました。また、立場や経験により求めるニーズや悩み等も異なることから、参加者層を『サービス管理責任者・リーダースタッフ』『現場支援員』に分け、隔月毎に会を運営してまいりました。この様な経過で進んでいった会でしたが、回数を重ねるにつれ、参加者の皆様から挙げられる課題やニーズ、今後目指していきたい方向性について深めていけた1年だったように感じます。今年度既に具体的な活動に向けて動きが進められておりますので、随時発信してまいりたいと思っております。

## 令和2年度 十勝障がい者就業・生活支援センターだいち 研修実施結果

	研修名	対象者	回数	内容
障がい当事者対象	社会人基礎研修	入社間もない方 基礎を確認したい方	集合2回	・9月3日「働く上で必要なビジネスマナーを学ぼう」…企業16名・オブザーバー11名参加 ・3月17日「コロナでも変わらないコミュニケーション」…企業12名参加
	課題別研修	興味のある方なら 誰でも	4回実施	・6月22日、7月20日、7月21日、1月5日開催…各3名参加 「コロナに負けるな、みんなで知恵を出し合おう」と題し、生活上の変化やストレスの解消法などを話し合いました
	スキルアップ研修	基礎を 理解している方	4回実施	・集合研修…10月6日「情報交換、個別相談会」を実施しました（30名参加） ・リモート開催…2月18日（6名参加）、19日（6名参加）、26日（5名参加）
	働く大人のしゃべり場	働く当事者	課題別研修 に振替	・感染予防のため、自由に集まる会への呼びかけは控えたが、当事者からの余暇的な活動に対するニーズは大きく、小グループ活動による研修方式の場の提供を行いました
	ピアサポート研修	求職者	1回	・9月3日…社会人基礎研修への参加を促し、働いている方の研修に求職者が参加することで刺激をもらえる場となりました（8名参加）
	就労準備研修	求職者	2回 (リモート)	・仕事の魅力発見フェスの開催…3月9日（清掃の仕事大研究）3月11日（厨房の仕事大研究）2回合わせて、延べ260名の方にご参加いただきました
企業対象	定着支援研修	企業担当者 障がい当事者	計9回実施	企業の代表として参加していただく方法を取っているため、企業への呼びかけにより参加を促しています（上記定着支援研修会とリンクします）
	企業プロジェクト	企業担当者	学習会2回 計8回実施	・学習会…8月18日「障がい者雇用の進め方」・10月27日「仕事の切りだしと業務のマッチング」（両日ともに14名参加） ・その他、運営会議、フェス準備会を実施
関係機関対象	地域就労支援連絡協議会 及び 帯広市自立支援 協議会 就労・社会活動部会	就労支援に 携わる方	1回実施 1回書面会 議での実施	・10月8日…ハイブリット研修（参加者…会場64名、リモート34名） 施設外就労をテーマ、それに関する行政説明と、3事業所からの事例発表を行いました。会場、リモートの双方の参加方法によるハイブリット研修を行いました ・3月25日…書面会議(報酬改定や雇用率の改定、当センターからの研修予定等を提供)
	就労支援担当者 スキルアップ研修		6回開催 (集合・リモート)	・今年度は、就労移行支援事業所の連絡会を開催し、それぞれの活動の状況を知り合うことを中心に活動しました。現場支援員・サビ管のグループを作りニーズを聞き取りました。この内容は、次年度の研修内容に反映していきます
	障がい者就労支援 ネットワークセミナー		1回実施	・8月30日…十勝管内の19市町村の行政福祉担当者の皆さんに参加いただき、地域の基本情報・相談のニーズの掘り起こし・障がい福祉サービスにおける給付費の状況・行政戦略などをテーマに、情報交換をしました（30名参加）

昨年度は、新型コロナウイルス感染症による活動の自粛があり、様々な研修への影響がありました。例年は100名規模の研修が年に3~4回、50名規模の研修会を随時行っていたが、小規模・リモートへとスタイルを変更して行いました。特に定着支援研修会は、定期的に行うことで就労定着へのフォローアップに位置づけられておりましたが、昨年度は参加人数の関係から、ニーズが出てきた方に向けて優先的に実施してきた経緯があります。しかし、就労定着支援の潜在的ニーズは声が上がっていないところにあると考え、今後も定期開催が行えるシステム作りを考えてまいります。また、利用者さんの対応の為現場を離れられない、遠方で参加が難しいという事業所からの声が多いことから、今後は研修資料の提供や動画の配信なども行ってまいります。準備が整い次第お知らせいたしますので、ぜひご活用ください。